

経営比較分析表（令和3年度決算）

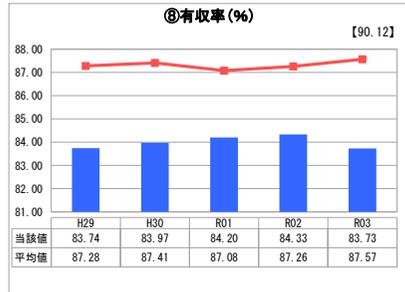
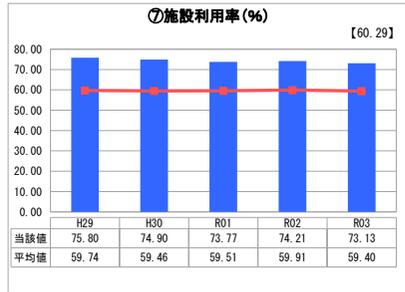
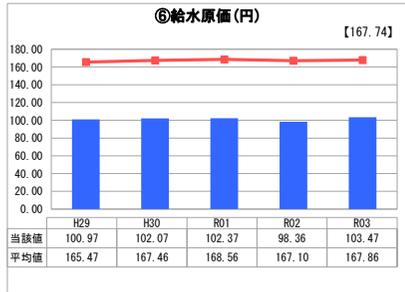
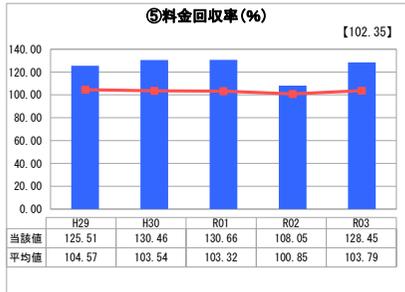
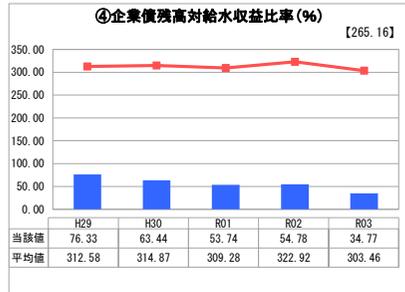
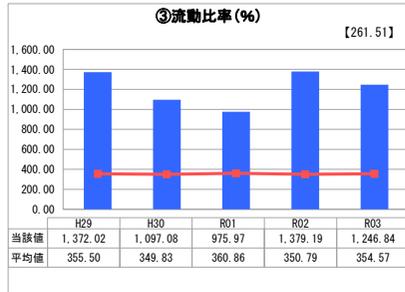
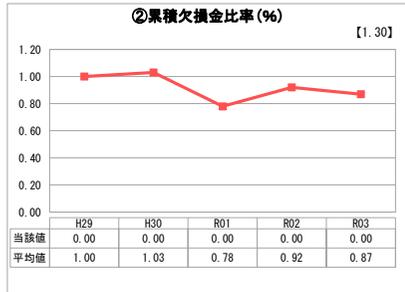
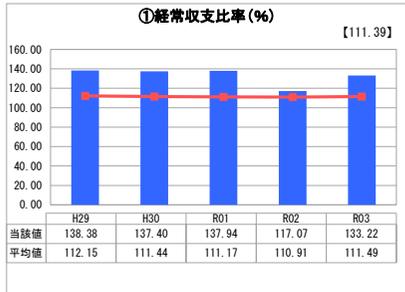
静岡県 御殿場市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	93.61	94.31	2,320	

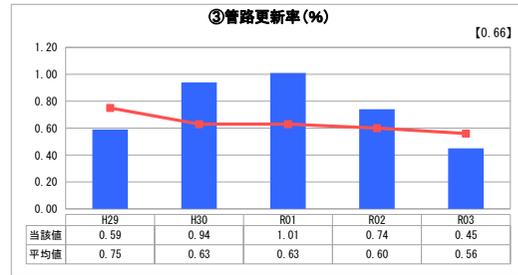
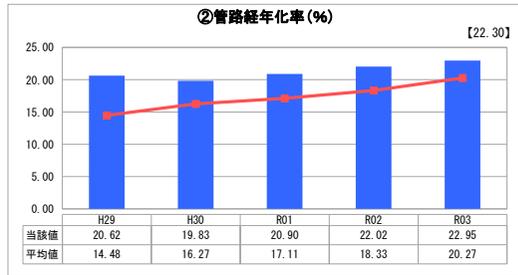
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
86,778	194.90	445.24
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
80,941	71.30	1,135.22

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤料金回収率ともに前年度に比べ上昇し、それぞれ100%以上です。前年度においては、新型コロナウイルスに伴う水道料金の減免措置実施により例年より低い値となりましたが、当年度においては例年並みに回復しました。また、①経常収支比率の上昇とともに⑤料金回収率も上昇していることから経常収益において給水収益以外の収入に依存している割合は低いといえます。さらに、例年同様に全国平均・類似団体平均値を上回っており、経営としては健全で安定しています。②累積欠損比率は0%で、営業活動による損失は発生していません。③流動比率は、100%を大きく上回り、全国平均・類似団体平均値と比較しても高い数値を維持し、1年以内の支払債務に対して現金が十分にあるといえます。④企業債務高対給水収益比率は、全国平均・類似団体平均値と比較して低い数値であり減少傾向にあります。前年度においては上記水道料金減免措置により減少率は横ばいとなりましたが、当年度においては例年並みに減少しています。⑥給水原価は全国平均・類似団体平均値と比較してやや安価であり、推移は横ばいです。⑦施設利用率は全国平均・類似団体平均値より高い数値となっていますが、将来の給水人口の減少等を踏まえ引き続き適正規模の検討を行ってまいります。⑧有収率については、当市は地質が砂礫であり、漏水が地表に現れず発見されにくいため、全国平均・類似団体平均値と比較して低く、推移は横ばいです。今後も漏水調査や凍結破損対策を継続して行い、有収率の向上に努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、前年度に引き続き、全国平均・類似団体平均値より低い数値となっていますが、推移は微増しています。これは、施設が老朽化していることを示しています。②管路経年化率③管路更新率の状況を踏まえ、施設等の計画的な更新を検討してまいります。②管路経年化率は前年度に比べやや増加し、全国平均・類似団体平均値より高い数値となっています。また、③管路更新率については、前年度よりやや減少し、全国平均・類似団体平均値と比較して低い数値となっています。これは、前年度同様、第二東海自動車道建設工事に伴う管路更新が行われていることによるものです。今後、第二東海自動車道建設工事が終わり次第、計画的な老朽管更新及び管路の耐震化に努めてまいります。

全体総括

経営の健全性・効率性においてはおおむね良好と考えられます。2.老朽化の状況についての部分においては全国平均・類似団体平均値並み、または、やや悪い第二東海自動車道建設工事が終わり次第、計画的な老朽管更新及び管路の耐震化が必要です。今後、老朽管の更新費用の大幅な増加、人口の減少傾向に伴う給水収益の減少が見込まれるため、経営の健全性を維持しつつ、計画的に財源を確保し、老朽管等の更新及び安定した給水に努めてまいります。